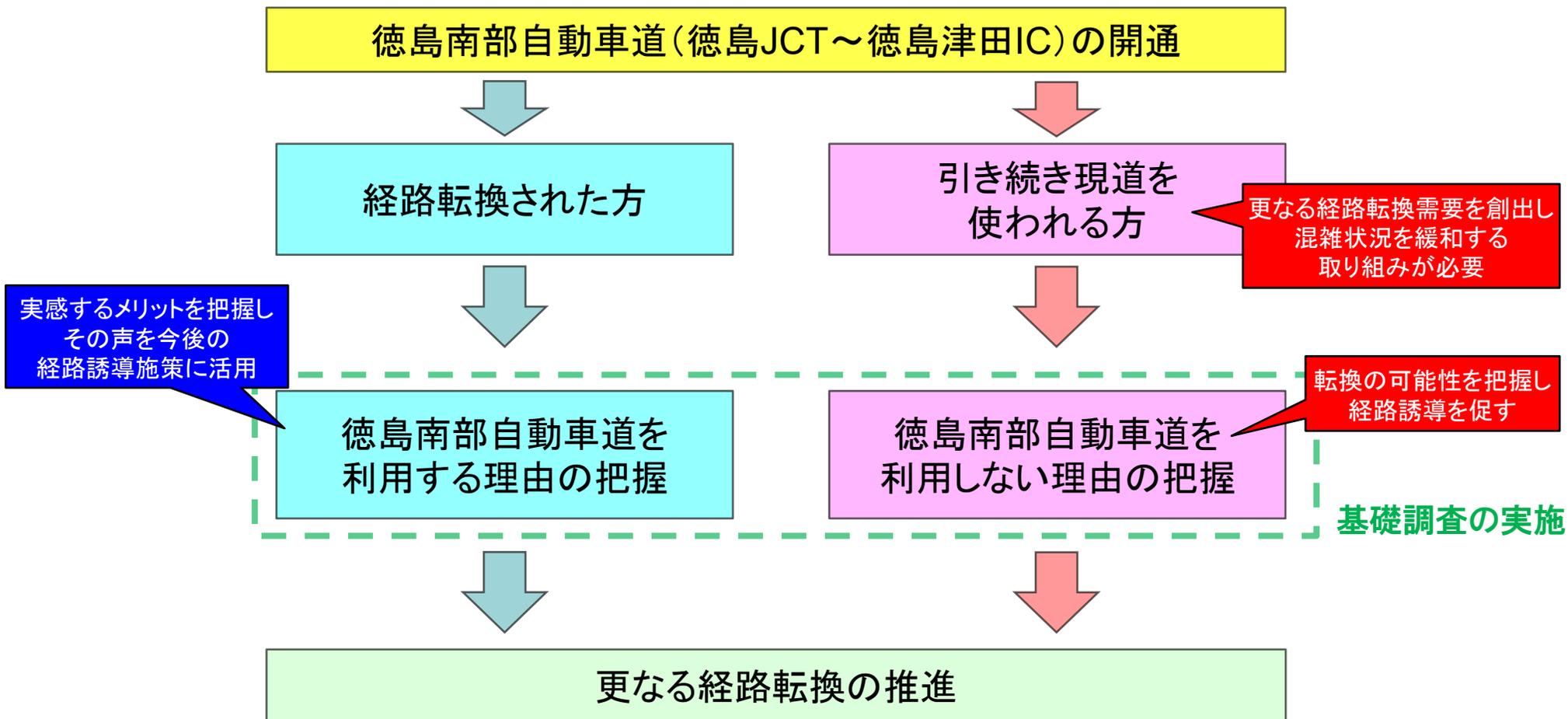


6. 徳島南部自動車道の開通効果について

- 6.1 徳島南部自動車道の開通効果に関する基礎調査概要
- 6.2 徳島南部自動車道の開通効果に関する基礎調査結果

6.1 徳島南部自動車道の開通効果に関する基礎調査概要

- 徳島南部自動車道への経路転換需要を更に高めることで、国道11号や55号等の現道部の混雑状況を緩和すべく、徳島南部自動車道の開通効果に関する基礎調査を実施した。
- 実際に徳島南部自動車道を利用する道路利用者が、徳島南部自動車道を利用することで実感しているメリットを把握するとともに、引き続き現道を使われている道路利用者が、徳島南部自動車道を利用しない理由等についても把握することで、徳島南部自動車道の利用促進に向け必要とする取組み概要について整理した。



▲徳島南部自動車道の利用促進に向けた基礎調査実施フロー▲

6.1 徳島南部自動車道の開通効果に関する基礎調査概要

- 更なる経路転換を促すべく、実際に徳島南部自動車道を利用している道路利用者に対して、徳島南部自動車道を利用するメリット等について意見聴取を行う他、経路転換を実施しなかった道路利用者からも、徳島南部自動車道を利用しない理由等について意見聴取を行った。
- ヒアリングやアンケート調査により、定性的な開通効果等を把握するとともに、徳島南部自動車道が開通したことにより生じ得る波及効果や副作用等についても定量的に評価を行い、徳島南部自動車道への更なる経路転換を促すために必要とされる取り組み内容等について把握した。

▼徳島南部自動車道開通効果に関する基礎調査概要

検証項目		具体的な調査手法	調査対象	調査目的・概要
① 県内の道路利用者 を対象 徳島南部自動車道 利用実態調査	徳島南部自動車道を利用する理由	・企業ヒアリング調査	・物流企業(屋号で抽出) ・バス事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島南部自動車道を利用するメリット等を確認。 ・今後施策展開を図るべき内容等について把握。
	徳島南部自動車道を利用しない理由	・WEBアンケート調査	・県内の道路利用者	
② 徳島県外の道路利用者を対象 徳島南部自動車道の利用実態調査		<ul style="list-style-type: none"> ・ETC2.0プローブデータ ・携帯プローブデータ ・WEBアンケート調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島南部自動車道 ・南北方向の主要幹線道路 <ul style="list-style-type: none"> ・徳島県外の道路利用者 	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島都市圏では休日にも慢性的に交通混雑が発生。 ・徳島県外の道路利用者も経路転換対象となり得るため、県外道路利用者を対象に、実際の道路利用状況や経路転換状況について把握。
③松茂SICへの波及効果		・ヒアリング調査	・松茂SIC周辺企業	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島南部自動車道の開通により、松茂SICの利用状況の変化を確認。
④端末IC周辺道路への副作用		・ETC2.0プローブデータ	・徳島津田IC周辺道路	<ul style="list-style-type: none"> ・端末IC(徳島津田IC)周辺道路に生じていると想定される混雑状況(副作用)を把握

6.2 徳島南部自動車道の開通効果に関する基礎調査結果「徳島南部自動車道利用実態調査」

○徳島南部自動車道を利用している企業や県内の道路利用者は、南部道を利用する理由として「時間短縮効果」、「運転時の安全性向上」、「現道部の渋滞回避によるストレス軽減」を実感している一方で、「ICへのアクセス性の低さ」等の理由から、南部道を利用しない道路利用者の存在も確認。

○今後、更なる経路転換を促すためには、「ICまでのアクセス性向上」が道路利用者から求められていることについても確認。

調査概要

<目的>

- ①徳島南部自動車道を現状利用している際のメリットや課題の把握
- ②徳島南部自動車道を現状利用していない理由の把握
- ③今後、更なる経路転換を促す上で求められる施策の把握

<調査①> 企業ヒアリング調査 (実施 令和6年5月、6月)

対象: 徳島南部自動車道をしている企業(屋号調査等により選定)
【地元企業 3社、バス事業者 3社】

<調査②> WEBアンケート調査 (実施 令和6年6月)

対象: 徳島県在住者、年齢18-64歳
徳島市内を自身の運転で移動する方

企業ヒアリング調査による意見概要

企業活動に対してメリットが大きい
通勤等の日常利用時は料金抵抗が大きい
ICへのアクセス道路の交通混雑が課題



徳島市企業A

- 客先への搬送を行う際、搬送時間が短縮し、運転時の安全性も向上するため、徳島南部自動車道を利用している。
- 搬送時間に短縮に伴い、1日の搬送エリア数が増加した。
- 拠点間の往来時間が短縮、定時性も向上したことで、残業時間の削減などの波及効果が生じている他、業務の効率性や生産性も向上している。(2024年問題関連)



高速バス事業者 B社

- 徳島市内の主要停留所が徳島駅であるため、現在、徳島南部自動車道は利用していない状況。
- 一方で、徳島南部自動車道が開通したことで、一般交通の一部が南部道へ転換され、国道11号・55号を利用しやすくなり、徳島南部自動車道整備による波及効果を実感している。
- 徳島南部自動車道のIC周辺にP&BR拠点が整備されれば、徳島南部自動車道ルートを経由するバス路線を運行する可能性はある。

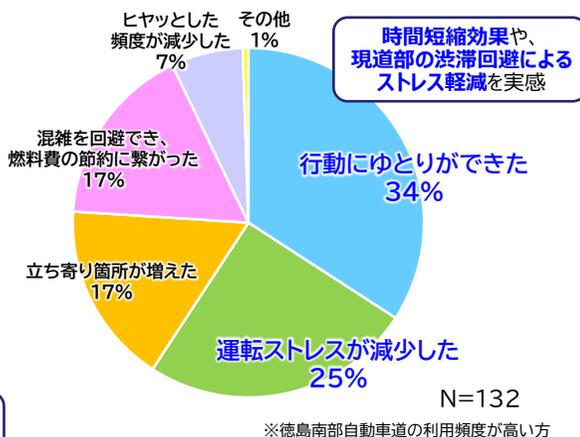


徳島市企業C

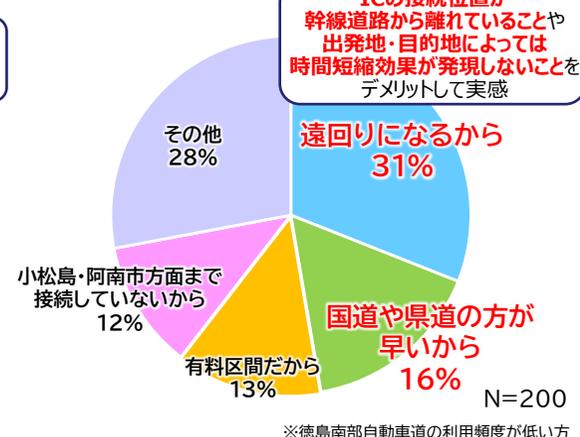
- 毎日の通勤時に、有料道路を選択することはハードルが高い。
- 徳島津田IC付近(県道129号 徳島インター線等)が混雑しており、時間短縮効果が実感できない時がある。
- また、県道29号徳島環状線(末広大橋)の工事影響により、徳島南部自動車道を迂回ルートとして選択する車両も増えており、より混雑状況が顕著である。

徳島南部自動車道を利用する・利用しない理由

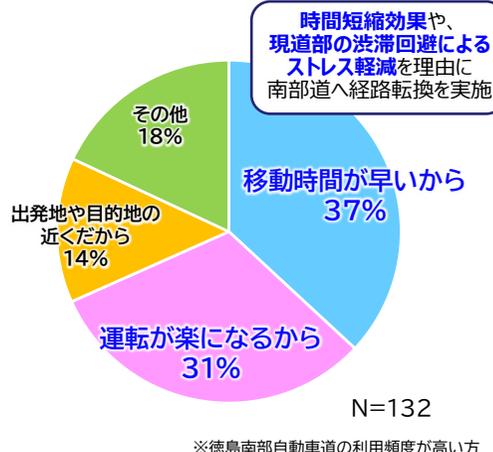
▼徳島南部自動車道を利用する理由



▼徳島南部自動車道を利用しない理由

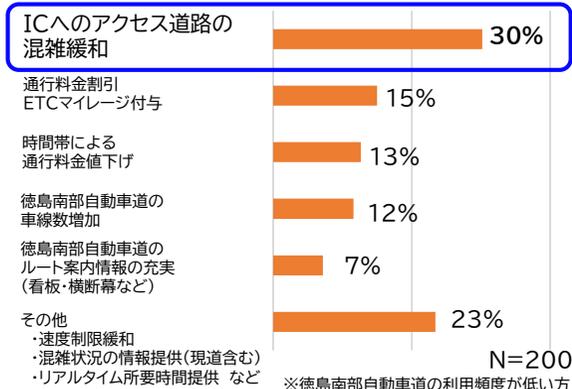


徳島南部自動車道へ経路転換した理由



更なる転換を促す上で求められる施策

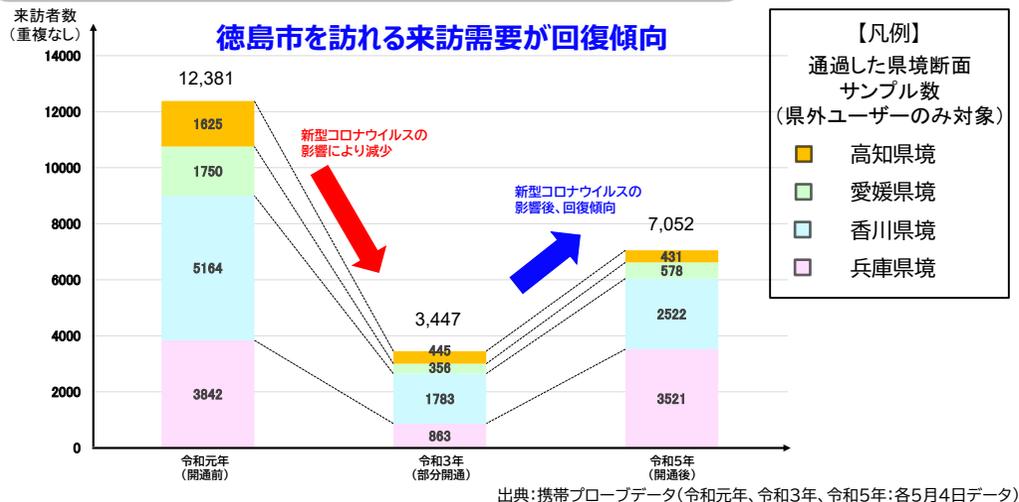
ICまでのアクセス性向上が更なる経路転換を促すために必要



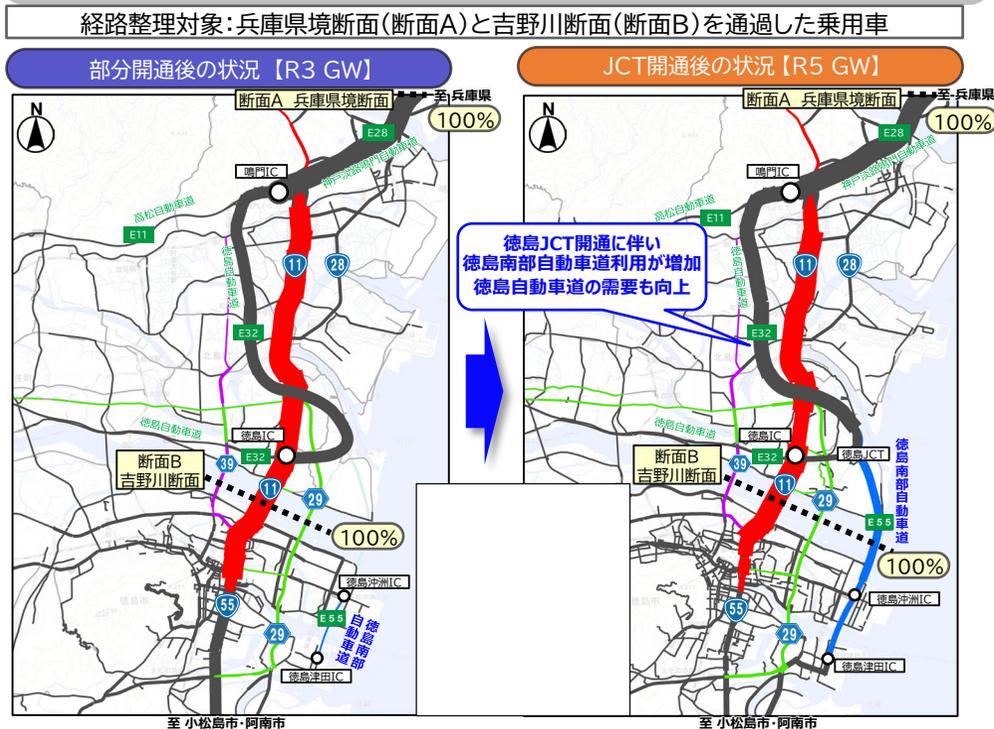
6.2 徳島南部自動車道の開通効果に関する基礎調査結果「県外の道路利用者による利用実態」

- 新型コロナウイルスの影響により、令和3年時点では県外からの徳島市内への来訪者数は減少傾向にあったが、新型コロナウイルス緩和後の令和5年時点では、再び徳島市を訪れる需要が回復傾向であることが把握でき、県外道路利用者(広域トリップ)の徳島南部自動車道への経路転換状況把握も重要であることを確認。
- 県外の道路利用者も、県内の利用者と同様に、「移動時間の短縮効果」を転換理由として位置づけ、転換を促すには「ICまでのアクセス性向上」が必要と考えている状況。
- 乗用車の経路変化状況を確認した結果、徳島JCTが開通したことで、広域トリップ属性の徳島南部自動車道の利用率が増加し、国道の利用率が減少していることも確認。

徳島市内への県外来訪需要比較(携帯プローブデータ)



徳島南部自動車道開通後の経路変化状況(ETC2.0プローブデータ:乗用車)

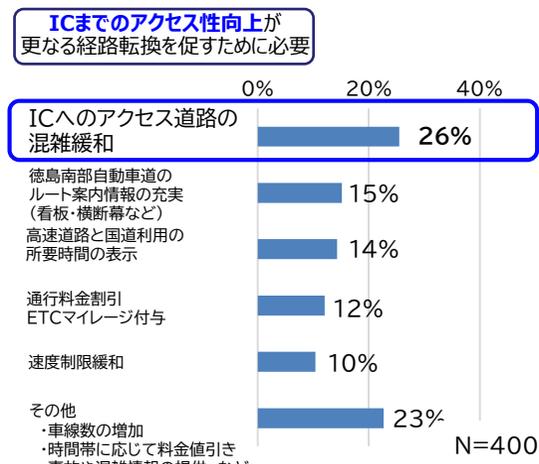
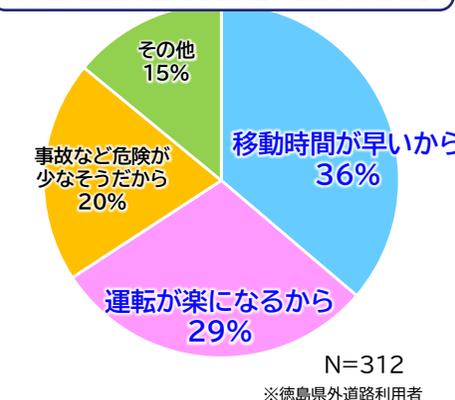


県外の道路利用者目線による転換理由等について(WEBアンケート調査)

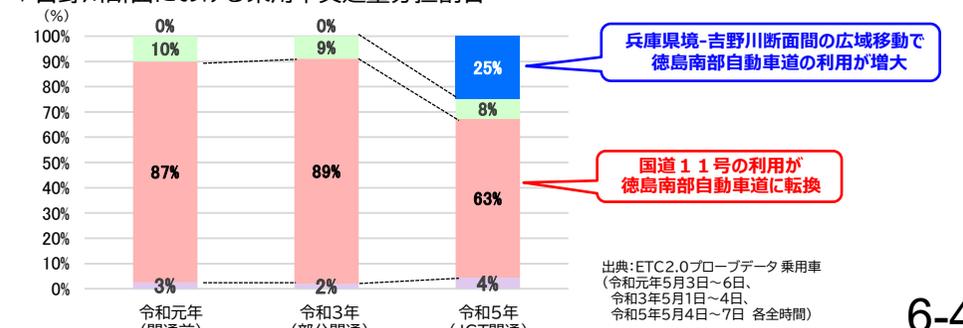
▼徳島南部自動車へ経路転換した理由

時間短縮効果の他、事故リスクの軽減・安定した走行が可能になる等のストレス軽減を理由に南部道へ経路転換を実施

▼更なる転換を促す上で求められる施設案



▼吉野川断面における乗用車交通量分担割合



6.2 徳島南部自動車道の開通効果に関する基礎調査結果「波及効果・副作用の影響把握」

- 松茂SIC周辺企業からヒアリング調査の結果、徳島JCTが開通し、高速道路ネットワークが延伸したことや、トラックドライバーの労働時間の短縮(2024年問題)に向けた取組みが必要となったことで、阿南市方面から帰社する際に、徳島津田IC⇒松茂SIC区間を利用するようになったことを確認。
- また、徳島南部自動車道が更に南伸した際、松茂SIC⇄徳島南部自動車道ルートでの時間短縮効果がより一層大きくなるため、更に利用頻度は向上すると想定されている他、徳島南部自動車道が開通したことで、現道部の交通分散が図られ、国道等の混雑が緩和したことを実感していることも確認。
- 徳島JCTまで開通したことにより、端末ICである徳島津田IC周辺エリアにあたる、国道55号と端末ICを結ぶ県道(徳島津田インター線・徳島小松島線・徳島環状線等)で速度低下が確認され、端末ICと国道55号間のアクセス時間が増加している状況を確認。

徳島南部自動車道の開通後における松茂SIC等の利用状況(企業ヒアリング)

【ヒアリング調査概要】

<目的>

徳島南部自動車道の開通後における松茂SICや徳島南部自動車道の利用状況を把握

対象: 松茂SIC周辺企業(3企業)

実施: 令和6年5月・6月



①松茂SIC経由で徳島南部自動車道を利用することにより生じたメリット



北島町 物流企業D

- ・阿南市方面から松茂町に帰社する際、徳島市内の渋滞を回避すべく、徳島津田ICから松茂SICを利用する帰路を試験運用している。
- ・渋滞を回避することで、**時間短縮効果**が生じており、定時性も向上し、**ドライバーの勤務時間の管理が行いやすくなっている。**(2024年問題)



松茂町 物流企業E

- ・徳島南部自動車道が更に南伸することで、阿南市以南への搬送時間の定時性向上や、ドライバーの拘束時間・労働時間の削減効果がより一層大きくなるため、**松茂SIC⇄徳島南部自動車道の利用頻度は向上すると想定している。**

②徳島南部自動車道を利用していない理由



松茂町 物流企業F

- ・徳島南部自動車道のICが、徳島市中心部(国道)から離れた位置に立地していることから、国道付近に立地する集配先まで移動する必要がある。
- ・松茂SICから徳島南部自動車道を利用できるようになったが、集配先の最寄りICから集配先までの移動に、どの程度の時間を要しているか把握できていない。
- ・結果、**松茂SIC⇒南部道ルートを利用することで発現する時間短縮効果の大きさも把握しきれず、**現在でも国道ルートを選択している状況。
- ・一方で、徳島南部自動車道の開通により、**他の道路利用者が徳島南部自動車道に経路変更を行うことで、実際に徳島南部自動車道を利用せずとも整備効果(現道の混雑緩和)を享受している。**

端末IC(徳島津田IC)周辺道路への副作用

※JCT開通時期: 令和4年3月21日

▼徳島南部自動車道(徳島JCT～徳島沖洲IC)開通前後の周辺道路の速度状況

【R3】部分開通後の端末IC周辺道路の状況



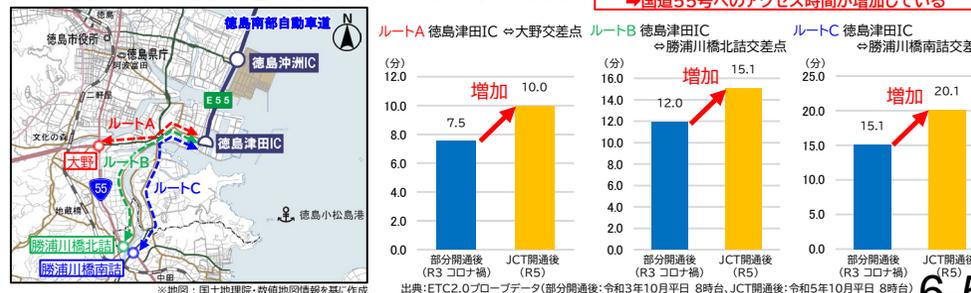
出典: ETC2.0プローブデータ(令和3年10月平日8時台)

【R5】JCT開通後の端末IC周辺道路の状況



出典: ETC2.0プローブデータ(令和5年10月平日8時台)

▼端末IC(徳島津田IC)と国道55号間のアクセス時間の変化



6.2 徳島南部自動車道の開通効果に関する基礎調査結果

